

生活とジェンダーを考える講座

物語の裏側にせまる！

- ◆ほんとうの紫式部と藤原道長の関係は？
- ◆清少納言と紫式部はライバルだった？
- ◆赤染衛門と道長の「栄華物語」

平安時代と女性作家たち ～「光る君へ」総復習！～

昨年NHK大河ドラマで「光る君へ」が放送され、平安時代の暮らしや平安文学が注目を集めました。この講座ではドラマに登場した平安時代の女性作家や歌人の生き方や文学作品を通じて、ジェンダーや自分らしさを楽しみながら学びます。



講師
木村 朗子さん

日時

9月27日 (土) 15:00～17:00

講師

木村 ^{さえ こ}朗子さん (津田塾大学 学芸学部 多文化・国際協力学科 教授)

会場

足立区生涯学習センター (学びピア21) 5階・研修室5

対象

区内在住・在勤・在学の方

定員

30人 (要申込・8月12日から先着順)

参加費

無料

申込方法

電話、FAXまたはオンライン申請 (足立区HP内)

保育

あり 



こちらからも
お申し込みができます。

詳しくは裏面へ▶

申込・問合せ先

 足立区 男女参画プラザ (多様性社会推進課)

電話：03-3880-5222 (休館日を除く平日8:30～20:00受付)

FAX：03-3880-0133 (24時間受付)

※都合により内容が変更、中止になる場合があります。ご了承ください。



知ると分かる。すると変わる。



SDGs MODEL ADACHI



セミナーの内容

「光る君へ」には、私たちの知る女性作家がみな登場していました。『蜻蛉日記』を書いた藤原道綱の母、『枕草子』を書いた清少納言、『源氏物語』の紫式部、和泉式部、赤染衛門、『更級日記』を書いた菅原孝標の娘…。そのなかで紫式部がヒロインだったのはなぜなのか。紫式部が書いた『源氏物語』は、どのような意味をもっていたのか。これらの女性作家と文学作品を深掘りしつつ、現代に通じるさまざまなジェンダーの問題について考えます。

講師紹介

木村朗子（きむらさえこ）

日本文学研究者、津田塾大学学芸学部多文化・国際協力学科教授。東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士課程修了。著書『百首でよむ「源氏物語」一和歌でたどる五十四帖』（平凡社新書）、『平安貴族サバイバル』（笠間書院）、『紫式部と男たち』（文春新書）など。

会場のご案内



足立区生涯学習センター 5階・研修室5

足立区千住5-13-5

（常磐線・東武線・つくばエクスプレス線・東京メトロ「北千住駅」西口から徒歩15分）

申込方法

電話、FAXまたは足立区ホームページ内のオンライン申請でお申し込みください。

TEL 03-3880-5222
FAX 03-3880-0133

足立区男女参画プラザ
平安時代と女性作家たち

検索
Q

保育をご利用になる方へ

講座に参加する間、お子さんをお預かりします。

対象 生後6か月～就学前まで

定員 5人／要予約

申込期限 9月18日（木）



参加申込書 FAX 03-3880-0133

平安時代と女性作家たち～「光る君へ」総復習!～

9月27日（土）15:00～17:00

参加者名／年代	お名前(カタカナ)		年代(あてはまるものに○) 10代・20代・30代・40代・50代 60代・70代以上	
お住まいの地域	例) 足立区梅田 ※町名まで			
連絡先	電話番号	FAX番号		
保育希望	保育を希望される方は、お子さんのお名前(カタカナ)、年齢をお書きください。 お子さんのお名前 /年齢: 歳 力月			

※ご記入いただいた個人情報は、今回の講座の受付以外の目的には使用いたしません。